

世界の広場



写真：週1回ある体操の時間を待ちわびる子どもたちと（トンガ王国/バウ諸島、青年海外協力隊OG 旭智子さん）

北陸からやってきた 「援の助くん」と「支恵ちゃん」 ボランティア日記

作：トシ&マル (青年海外協力隊OB) ささえ

「モルディブ食事情」



ちなみに、お店でおやつを買っても中身はカツオだった
JICAボランティアOBOGのみなさんへ体験談を募集しています。JICA北陸広報までご連絡下さい

NEXT STAGE

～帰国隊員の今～ ボランティアの帰国後の様子をお伝えします。

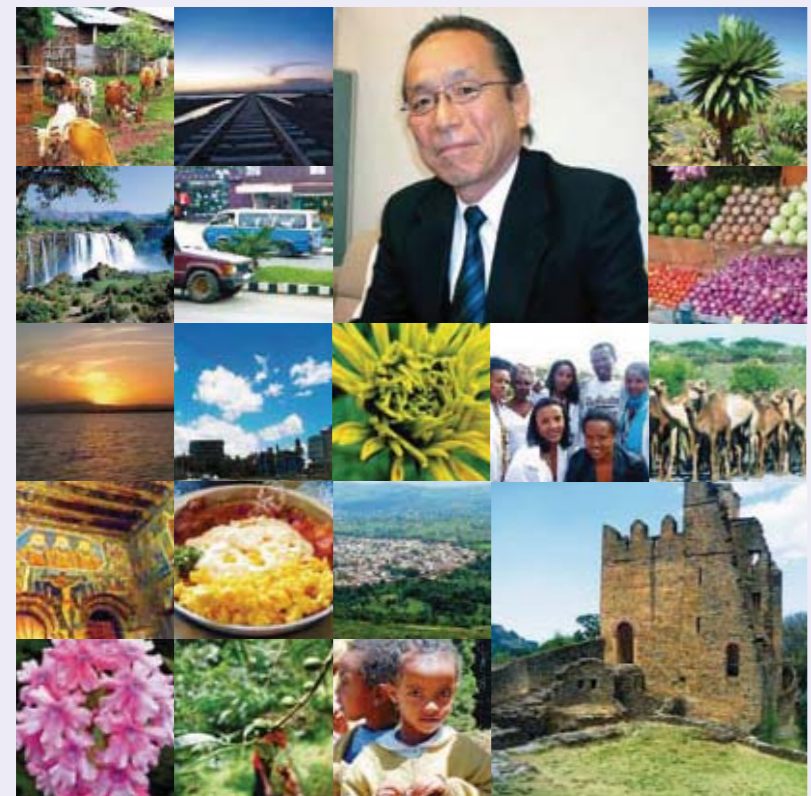
竹腰 勇ノ介さん (石川県金沢市)
北都組代表取締役社長 (現職参加※ 職種:土木)



海外が今より随分遠い存在だった34年前、石川県庁に勤務していた竹腰さんは日本以外の世界を見てみたい、自分の仕事がどれだけ通用するのか知ってみたいと青年海外協力隊に応募した。石川県初の現職参加として、エチオピア・ハラール市へ。最初の仕事は前隊員が作成した新規道路計画線の復元だったが、技術者の不足や資金問題等、悪条件が重なり道路建設計画は難航。別途新たな道路計画にも着手したが、「これらの道路がいつになったら完成し、市民に使われるのか」と疑問に感じながらも任務を終了し帰国した。

先日、当時を懐かしみ、インターネットで自分の活動していた地域を検索、なんとそこには計画通りの道路ができていたのだ。何にも変え難い感動である。「もう一度、ハラール市を訪れて、この目で確かめてみたい」と竹腰さん。

現在は県庁を定年退職し、建設会社の経営を任せられている。厳しい社会情勢の続く中、これからも青年海外協力隊時代に培った粘り強さで乗り越えて行く。



※現職参加とは？

現在、企業等に勤めている人が、休職などの形で所属先に身分を残したままJICAボランティアに参加することを指します(法律や条令、企業制度等に基づく)

写真(一部を除く): 野尻慎介さん(青年海外協力隊員)

QUIZ クイズ

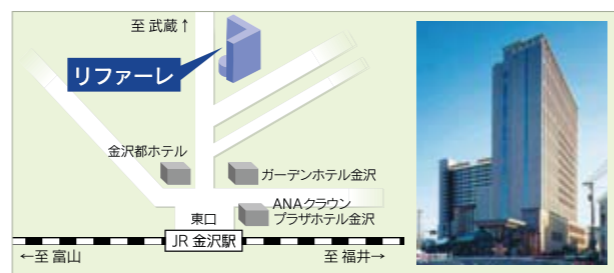
アフリカ・カメルーン共和国の意味は？

- ① エビ
- ② サバ
- ③ ライオン



発行元: JICA北陸 (独立行政法人国際協力機構)

〒920-0853 石川県金沢市本町1-5-2 リファール(オフィス棟)4階
TEL 076-233-5931・FAX 076-233-5959
E-mail jicahric@jica.go.jp



JICA北陸ホームページ <http://www.jica.go.jp/hokuriku/index.html>

クイズの答え ① エビ カメルーンの語源はポルトガル語の camarão=カマロン。カメルーンを訪れたポルトガル人が川にたくさん的小エビがいるのを見て、そう呼んだことから

北陸発 国際協力 これがJICA北陸! 新スタッフ3名とその業務を紹介します

市民参加協力事業
JICA 草の根技術協力事業 in 中国



石川県青年海外協力隊OB 竹腰勇ノ介さん インタビュー
NEXT STAGE ～帰国隊員の今～



4コマ マンガ「援の助くん」と「支恵ちゃん」 ボランティア日記

